

令和元年度第2回宮城県試験研究機関評価委員会

研究課題に係る評価実施結果

1 評価委員

評価委員名	所属・職名等	摘要
長谷川史彦	国立大学法人東北大学 未来科学技術共同研究センター センター長・教授	委員長
鳴谷 元	株式会社日本政策金融公庫 仙台支店 農林水産事業統轄	副委員長
福村 裕史	独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校 校長	
菊地 郁	公立大学法人宮城大学 食産業学群 准教授	
白鳥 正文	有限会社川口グリーンセンター 代表取締役	
陶山 佳久	国立大学法人東北大学大学院 農学研究科 准教授	
杉崎 宏哉	国立研究開発法人水産研究・教育機構東北水産研究所 業務推進部長	
伊藤 絹子	国立大学法人東北大学大学院 農学研究科 准教授	

2 評価対象課題

評価対象課題名	概要	実施期間	予算額	摘要
水産加工品における機能性油脂の安定化技術実証研究	<p>本県水産加工の中核である水産練り製品は、東日本大震災により大きな被害を受け、集荷量は回復基調にあるものの、未だ震災前の7割弱に留まっており、販路開拓のための商品開発が急務である。</p> <p>そこで、訴求力のある新商品として、健康志向の消費者向けに、東北大学農学研究科仲川教授が開発した機能性油脂（DHA）安定化技術を活用し、DHA入り粉末魚油を添加したかまぼこの商品化を図ることを目標とし、その製造技術を確立した。</p> <p>平成30年には、1社が揚げかまぼこを試作したが商品化には至っていない。他にも興味を示している企業があることから、製造コストや商品企画・マーケティング等を再検討することにより、商品化に向けた支援を今後も継続していく。</p>	平成29年 ～30年	6,237 千円	事後 評価

3 評価項目（事後評価）

- (1) 目標の達成度
- (2) 研究成果
- (3) 地域への貢献度・波及効果

4 評価結果

A 優れた研究であった

5 研究課題評価表

別紙のとおり